

進路指導部だより 第4号

平成30年9月3日(月)発行
東京都立八王子特別支援学校
校長 井上 美保
〒193-0931
八王子市台町3丁目5番1号
TEL 042-621-5500(代)

発行元：進路指導部 担当：堤 潤二 URL <http://www.hachioji-sh.metro.tokyo.jp>

長い夏休みも終わり、いよいよ2学期が始まりました。皆様には、御変わりなく御越しのことと存じます。

さて、第4号の進路指導部だよりは、7月18日に行われた第2回進路保護者研修会の内容を御届けします。今回は「見学」を中心とした研修会を実施しましたので、各コース別に報告をさせていただきます。

第2回 進路保護者研修会の報告

高等部の保護者の皆様をはじめ小学部、中学部からも御参加いただきましてありがとうございました。

<Aコース：アフラック・ハートフル・サービス株式会社>

アフラック・ハートフル・サービス株式会社は、アフラック本体をはじめとするグループ会社内で外部業者に受託していた事務補助業務・派遣社員などが対応していた事務補助業務を中心に受託して仕事をしています。その内容は①発送関連業務②書類開封・書類チェック業務③書類ファイリング業務④PC関連業務⑤シュレッダー業務⑥オフィスサービス業務(リユース業務や数種類のスタンプ押し)と多岐にわたります。今回の見学会では会社概要、実習、社員の特性をパワーポイントで丁寧に説明していただき仕事の様子も見学することができました。また、就職するために必要なこととして、生徒と仕事内容のマッチング、働きたい気持ちや素直に仕事に取り組む姿勢が大切であると教えていただきました。好事例だけでなく、うまくいかなかった事例まで説明していただき、今後の学校生活で大切なこと(規則正しい生活、健康管理、時間管理、身だしなみ、公共交通機関の利用)を具体的に示してくださいました。とても勉強になる有意義な時間となりました。

<Bコース：NPO法人あけぼの会 梅坪事業所・滝山事業所・あけぼの事業所・グループホームあけぼの寮 >

当日は猛暑にもかかわらず、15名の保護者の方が参加されました。「道の駅八王子滝山」に集合した後、まずは「梅坪事業所」の見学です。利用者の皆さんが立ち作業で箱詰めした試供品をベルトコンベアーで流し、梱包された製品がうず高く積まれていく様子に参加された皆さんは、少々驚かれた様子でした。

また、昼食について、自前で作っているという説明があり、グループホームを利用している方にとっても、3食バランスの良い食生活が送れていることがわかりました。

その後、事業所が所有しているバスに乗車させていただき、「滝山事業所」「あけぼの事業所」と見学しました。作業は「梅坪事業所」と同じ内容ですが、納期に応じて封入作業や箱詰め作業など途切れることなく受注作業に取り組んでいるということです。共通してどの事業所にも一人一台ずつ自分専用の事務机が用意され、作業に取り組みやすい環境になっていました。

なお、生徒が進路先として考える場合、「あけぼの事業所」で現場実習の評価及びその後の契約となり、「梅坪事業所」「滝山事業所」には、「あけぼの事業所」で経験値を高めてからの異動となるということです。

その後、歩いて5分程度の所にある「グループホームあけぼの寮」を見学しました。最初に厳重に施錠された女子棟の玄関に入り、プライバシーが守られた個室や食事をするための共有スペース、大浴場を次々に見学し、その広さと綺麗な空間に参加された保護者の皆さんは、とても好印象を持たれたようです。

男子棟はアパートを借り切っているので、各部屋とも玄関にワンルーム、ユニットバス付きの作りとなっており、食事は1階の大きな食堂で摂ることが説明されました。女子棟も男子棟もあらかじめベッドやエアコン、洗濯機が個室に備え付けられており、自分の時間を大切にしながら生活を送れるよう配慮がされていると感じました。

最後に『NPO法人あけぼの会』は、日中の事業所でしっかりと働いて工賃を稼ぎ、20歳から出る障害者基礎年金と合わせて、グループホームを利用しながら自立生活を目指していることや旅行も年に複数回企画されており、社会人として充実した毎日を送っているという話が紹介されました。

福祉事業所には、様々な運営方針があります。今回は長い時間、作業を黙々と取り組み、自立生活につなげていくという方針の事業所でした。参加された皆さんにとって、お子様に適した進路を考える上で、良い機会となったようです。

【裏面に続く】

＜Cコース：NPO法人まゆだま まゆだま・社会福祉法人八王子いちょうの会 いちょう工房 みらい・NPO法人 八王子うらら会 うらら長沼＞

運営主体が異なる3つの生活介護事業所が「長沼通所センター」という建物に入っています。

「まゆだま」・・・見学日は月に2～3回あるという体操教室の日でした。歩いてすぐの公共施設内で講師の先生と一緒に体を動かす活動を見学しました。21歳～70歳と利用者の年齢層の幅も広く、高齢の方への支援について、作業療法士に見ていただき健康維持に配慮されているというお話を伺うことができました。

「いちょう工房みらい」・・・ショッピングバッグやショッパーの仕事、また製菓に取り組んでいるところを見学することができました。卒業生が集中してショッピングバックを作っている姿も見ることができました。こちらでは、生活の場は自宅からではなく市内のグループホームから通っています、という方も数名、最近では若い時からグループホームに移行される方も少なからずいるというお話も伺えました。利用者さん間の交流としてなんでも話し合うミーティングの会もあり、気持ちよく働くための工夫も最後に伺うことができました。

「うらら長沼」・・・見学の前に施設概要のお話を伺いました。毎日休むことなく通所し仕事を頑張った分だけ工賃やボーナスがもらえることが、仕事に対する意欲につながっているお話を伺いました。仕事だけでなく余暇も大事、ということで見学した日には、首都大学の学食にご飯を食べに行く計画がある日でした。若い人達に囲まれ食事をすることの楽しみも気持ちの張りにつながっているようです。

〈見学を通して〉休み時間の過ごし方については、事業所所有のタブレットを交代で使って楽しんだり、編み物やドリルをやっている人もいるというお話がありました。学校での忙しい休み時間と異なり、ゆったりとした休憩時間をどう過ごすか、好きなことを見つけるといことも在学中から探しておけると良いと思いました。

【お知らせ】

- ★第3回 進路保護者研修会の御案内 （詳しくは、お知らせをご確認ください）
内容： 「20歳前傷病による障害基礎年金について」
日時： 平成30年9月12日（水） 午前9時30分から午前11時30分まで
場所： 本校 研修会議室

